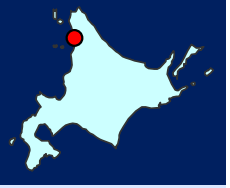
第4種 遠別漁港（北海道遠別町）

遠別（えんべつ）地区特定漁港漁場整備事業計画

遠別地域マリンビジョン策定（モデル地域）

留萌圏域
生産拠点



現状と課題

・ホタテ成貝の積込み作業が野天で行われており、異物混入や日射による鮮度低下が課題。
・防波堤の矢板腐食が進行し、施設安定性が低下している。また、防波堤方向からの強風により係留作業に支障が生じている。
・漂砂により航路水深が不足し、漁船の出入港に支障がある。また、漁港内の用地不足が顕在化し、漁港外用地で作業を行う非効率な作業状況にある。

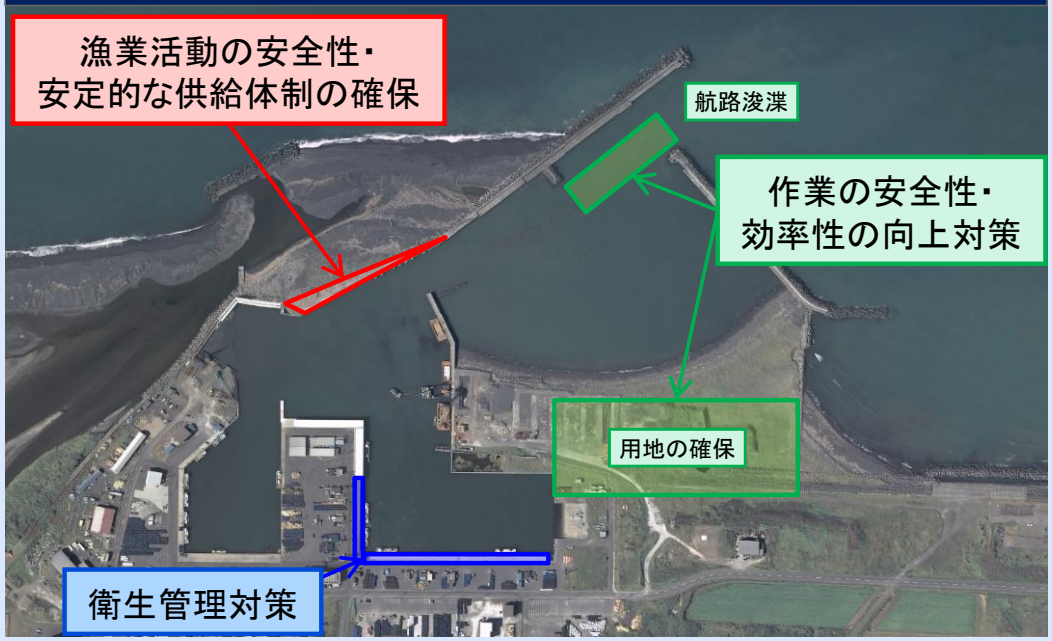
港勢　（R5港勢調査）

登録漁船：24隻
利用漁船：24隻
（内、外来漁船：0隻）
属地陸揚量：5，112トン
属地陸揚金額：19．6億円
主な魚種：ホタテガイ、タコ類
組合員数：27人

◎遠別漁港の役割

・日本海北部海域におけるホタテガイ養殖を中心とした養殖漁業、小型定置網等の沿岸漁業の生産拠点
・道内外のホタテガイ種苗供給基地
・韓国向け活ホタテガイの輸出拠点
・周辺海域で操業する漁船の避難拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・ホタテ成貝の積込み作業時における水産物の鮮度低下や異物混入を防止するとともに、効率的に作業を行える環境を確保するため、陸揚岸壁の背後積込部において屋根整備を行う。
・係留作業の安全性を確保し、安定的な漁業活動を確保するため、防波堤を改良するとともに防風柵を設置する。
・漁船航行の安全確保のため、漂砂対策として航路へのサンドポケット整備を行う。また、漁具洗浄など作業の効率化を図るため、漁港内に作業用地を整備する。

基本事項

全体事業費：26．2億円
事業期間：R3～R12

主要な対策①：衛生管理対策

主要な対策②：漁業活動の安全性・安定的な供給体制の確保